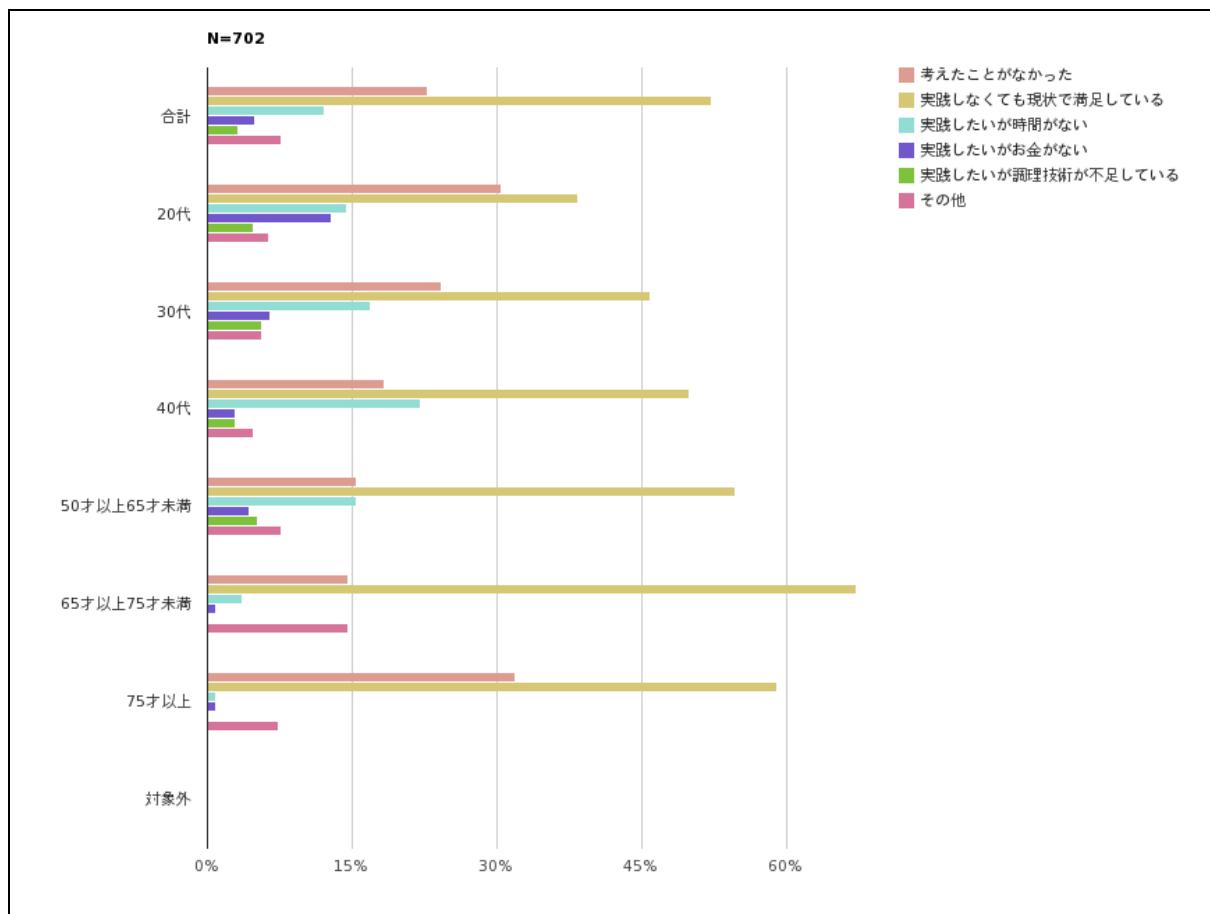
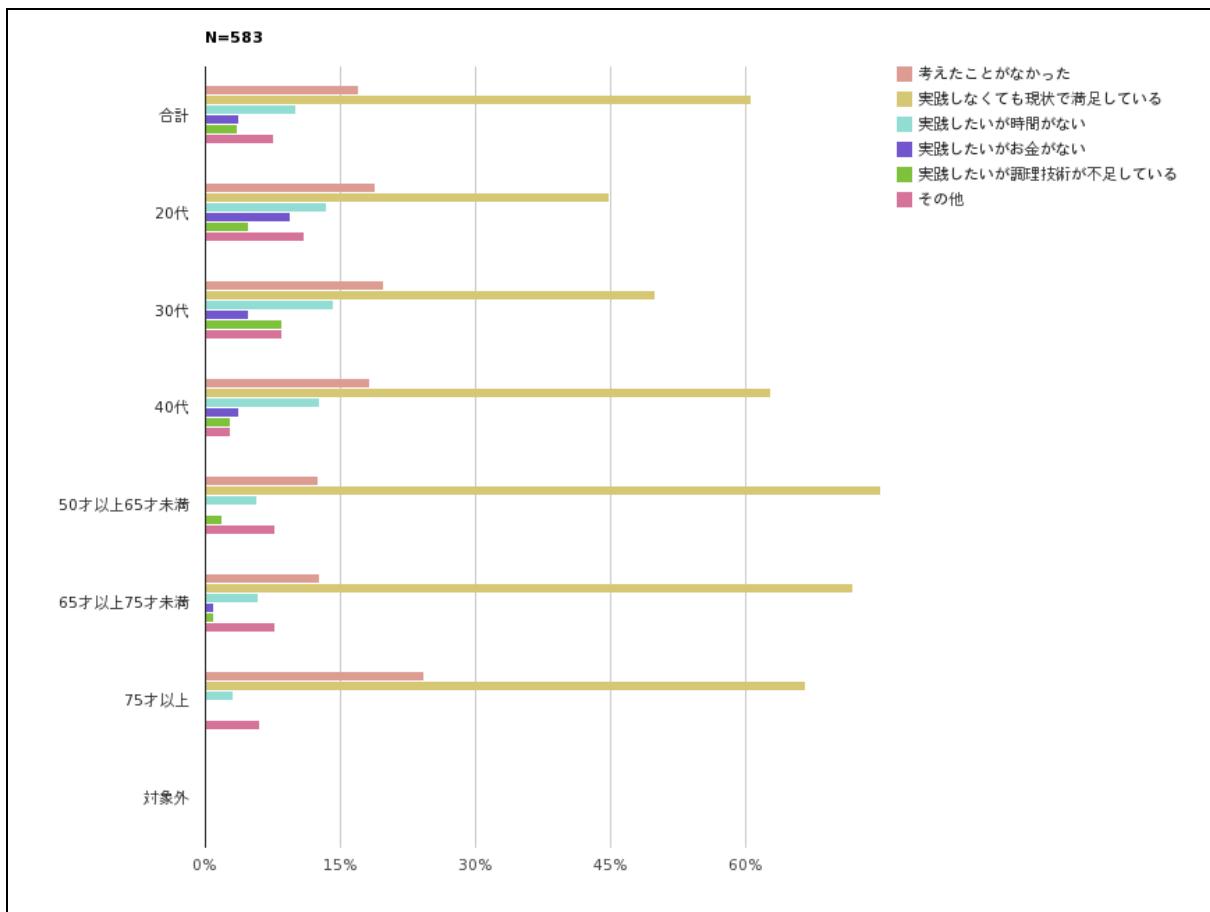


図 54 年代別の一週間で「ごはん」を食べる回数(朝食・昼食・夕食の合計回数)



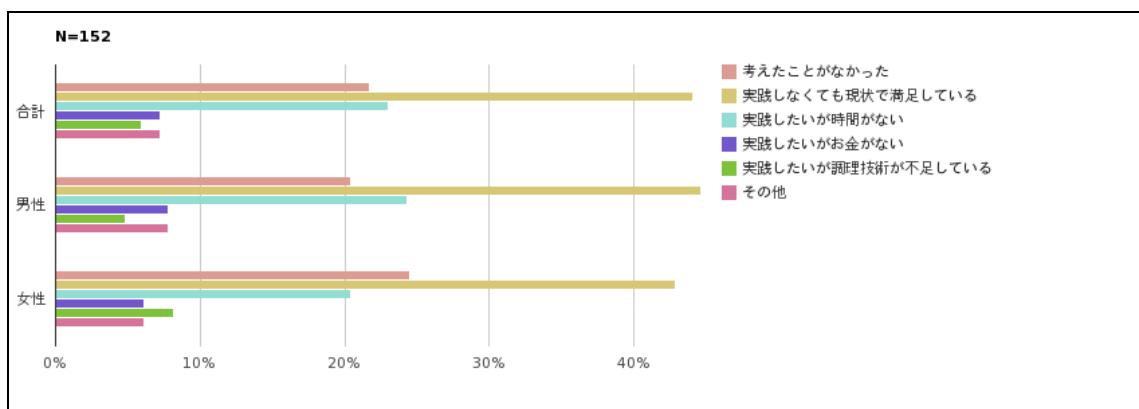
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 55 「ごはんを中心とした食事をとる」を実践していない理由(男性)



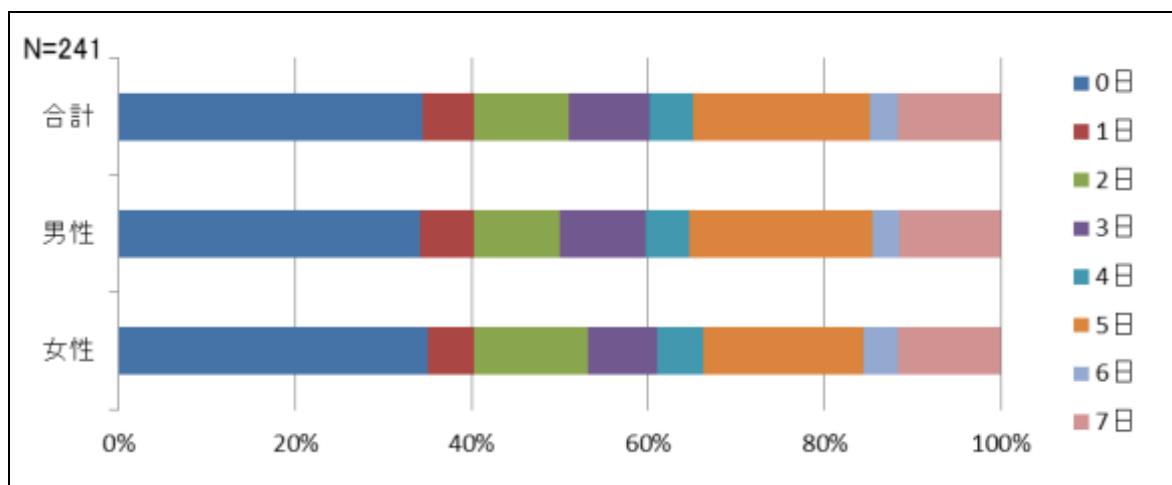
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 56 「ごはんを中心とした食事をとる」を実践していない理由(女性)



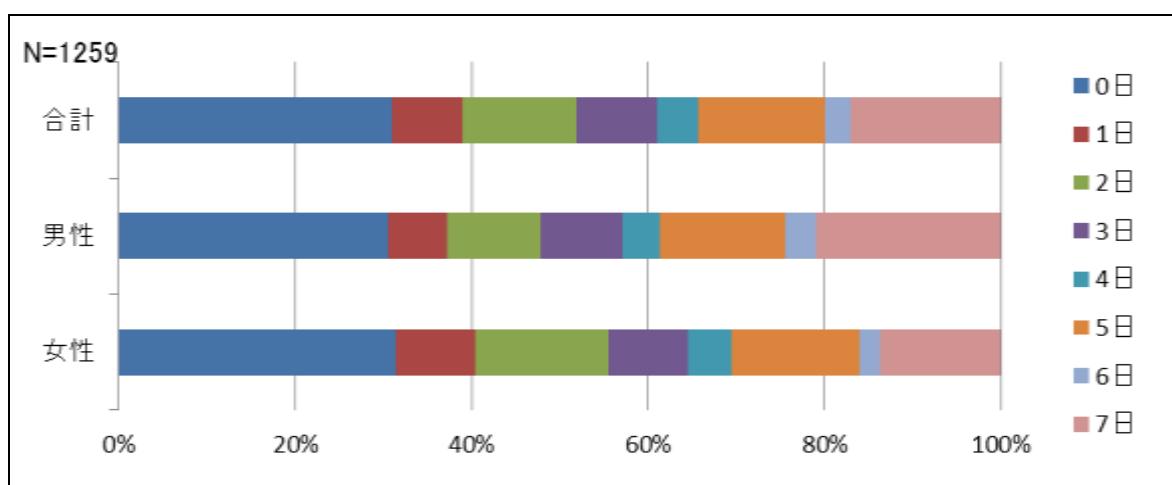
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 57 「1日3食の食事を欠食せずにとる」を実践していない理由(単独世帯・仕事をしている)



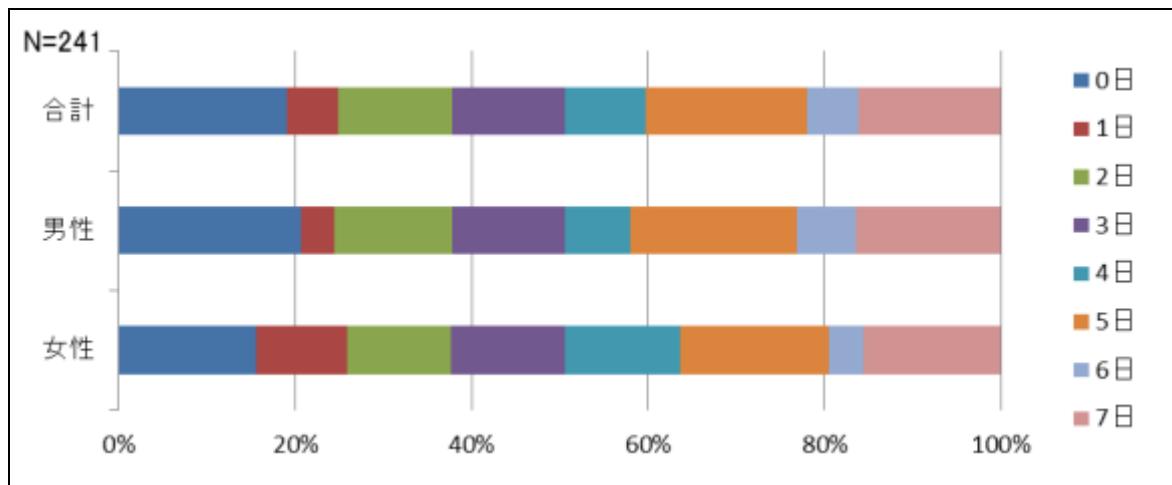
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 58 20~40代の単独世帯・有職者の「主食・主菜・副菜」そろえて食べている回数
(昼食)(性別クロス集計)



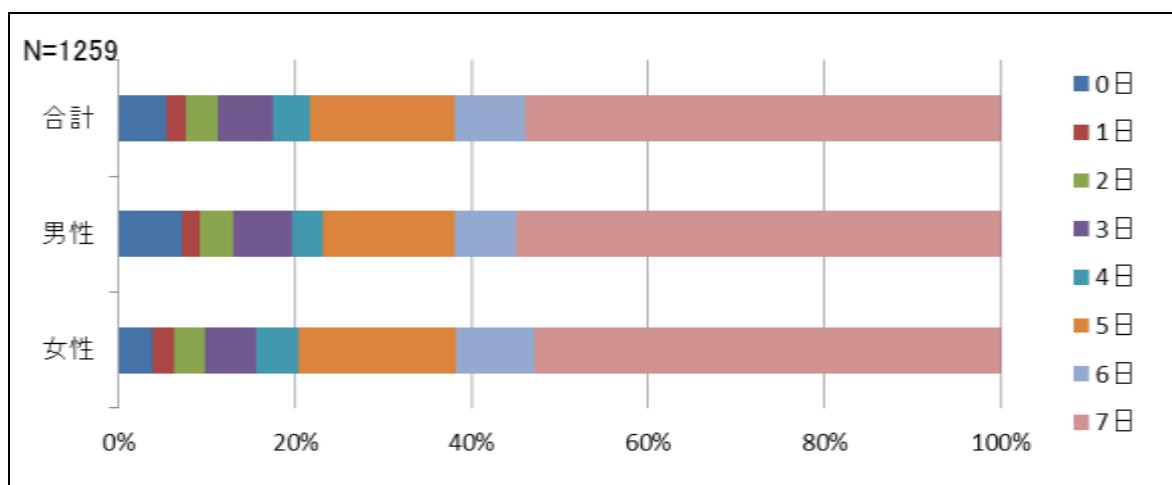
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 59 20~40代のうち単独世帯・有職者を除く者の「主食・主菜・副菜」そろえて食
べている回数(昼食)(性別クロス集計)



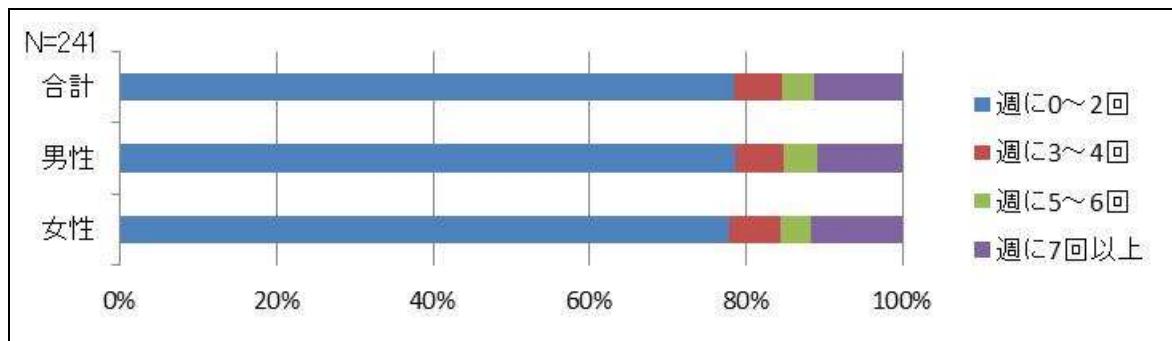
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 60 20~40代の単独世帯・有職者の「主食・主菜・副菜」そろえて食べている回数
(夕食)(性別クロス集計)



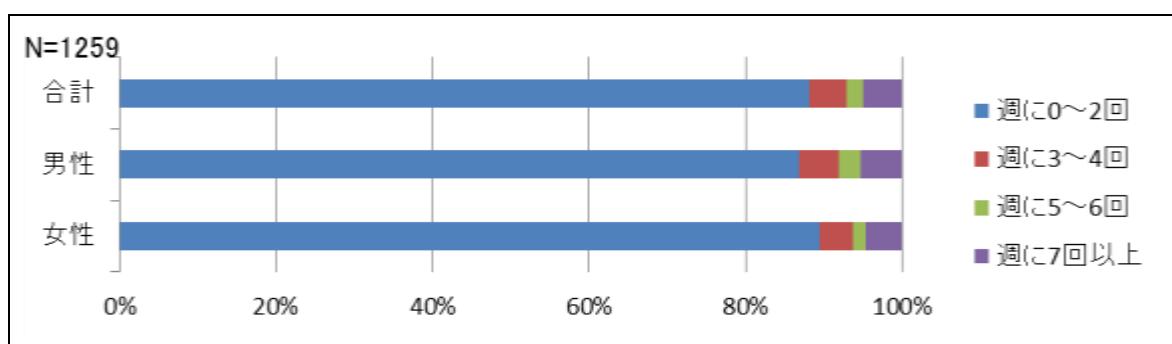
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 61 20~40代のうち単独世帯・有職者を除く者の「主食・主菜・副菜」そろえて食
べている回数(夕食)(性別クロス集計)



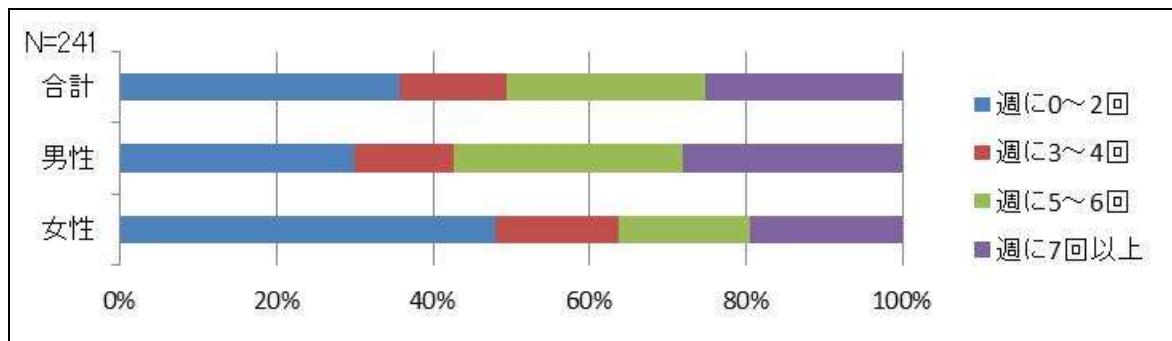
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 62 20~40代の単独世帯・有職者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(朝食)(性別クロス集計)



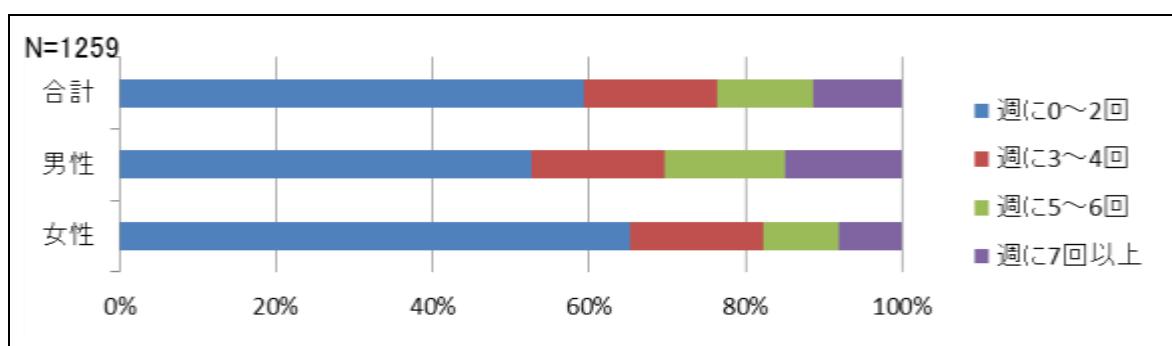
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 63 20~40代のうち単独世帯・有職者を除く者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(朝食)(性別クロス集計)



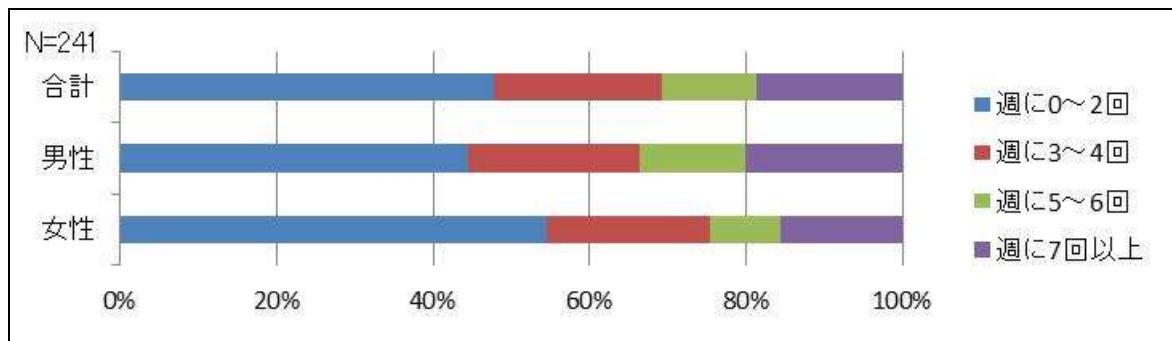
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 64 20~40代の単独世帯・有職者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(昼食)(性別クロス集計)



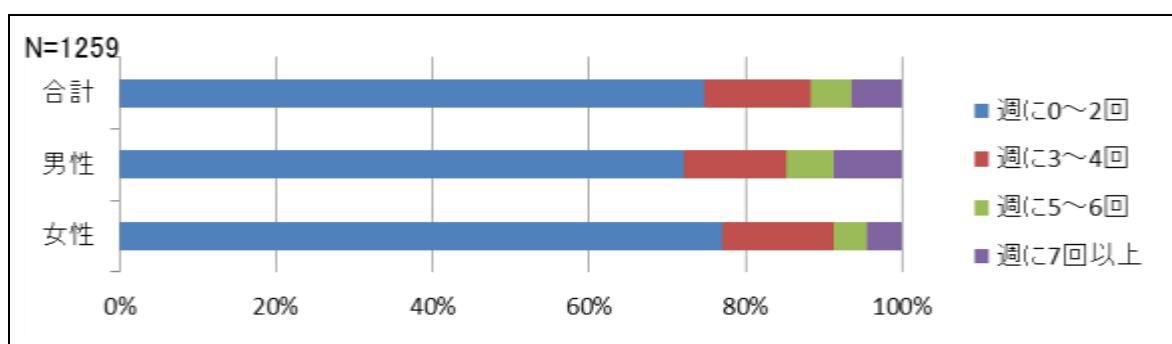
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 65 20~40代のうち単独世帯・有職者を除く者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(昼食)(性別クロス集計)



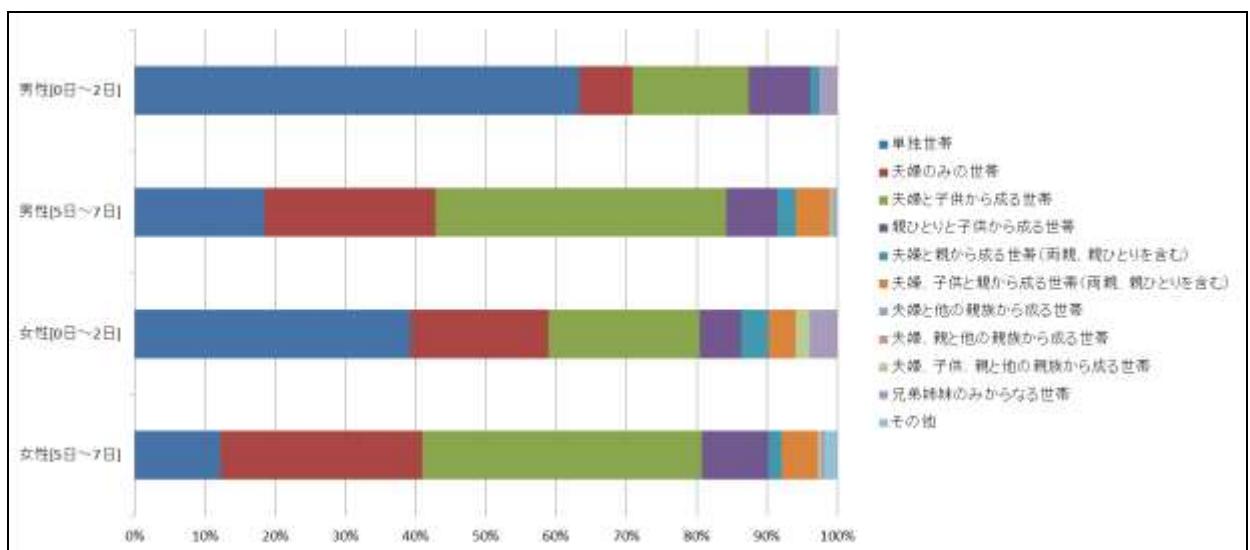
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 66 20~40代の単独世帯・有職者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(夕食)(性別クロス集計)



出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 67 20~40代のうち単独世帯・有職者を除く者の「家庭食以外(外食・中食・冷凍レトルト)」の利用頻度(夕食)(性別クロス集計)



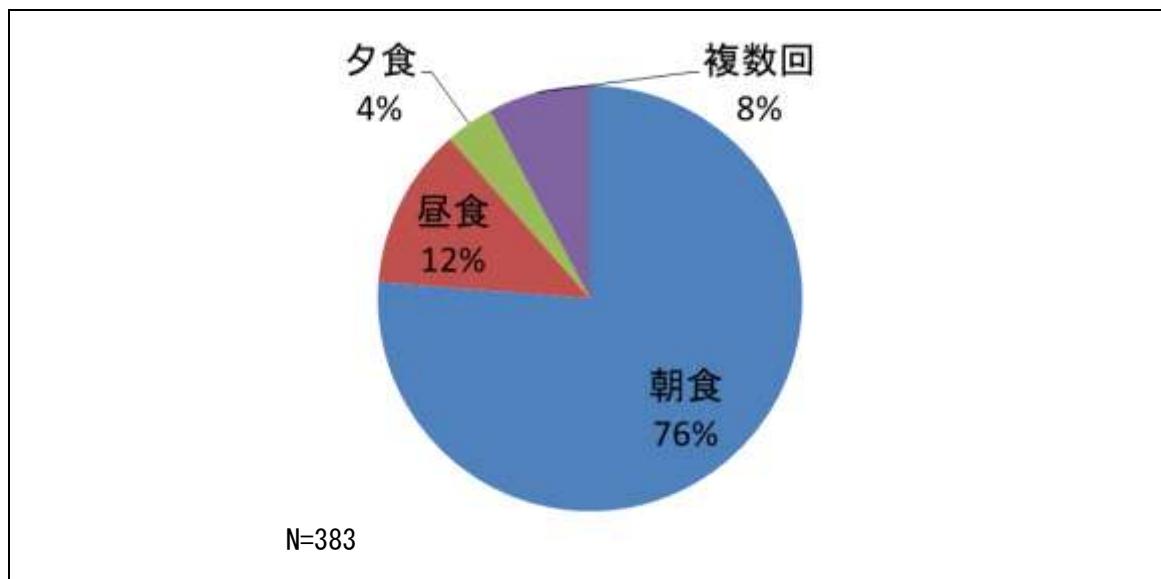
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

**図 68 「家庭食以外」の利用頻度の高い者※1 のうち、夕食で「主食・主菜・副菜」そろえて食べている回数の少ない者※2、多い者※3 の世帯状況
(性別クロス集計)**

※1：夕食での外食、中食、冷凍食品・レトルト食品の利用回数（延べ数）が週に3回以上

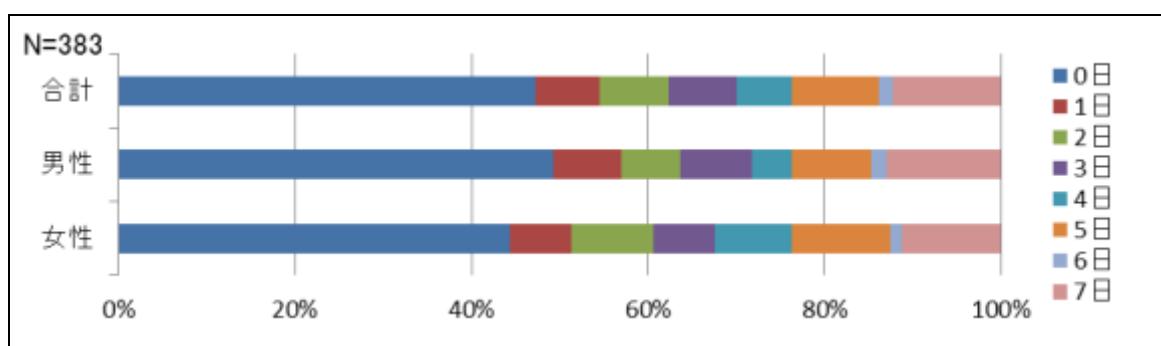
※2：週に0～2日

※3：週に5～7日



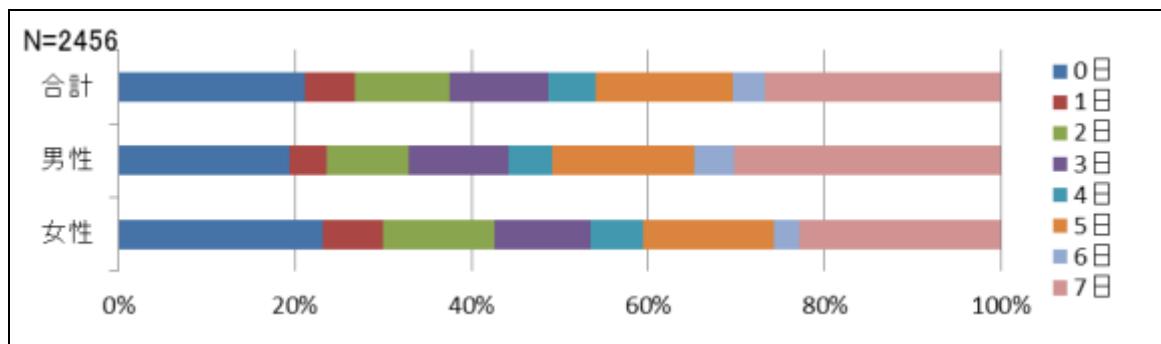
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 69 欠食者の内訳(全体・構成比)



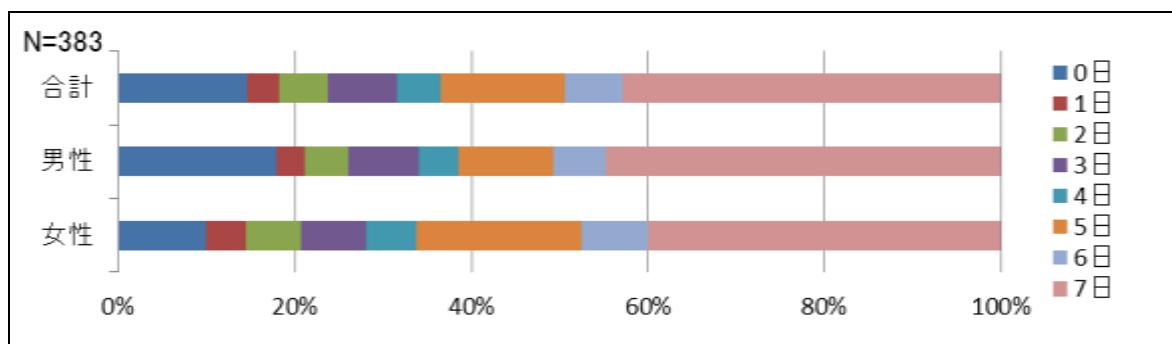
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 70 欠食者の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)
(性別クロス集計)



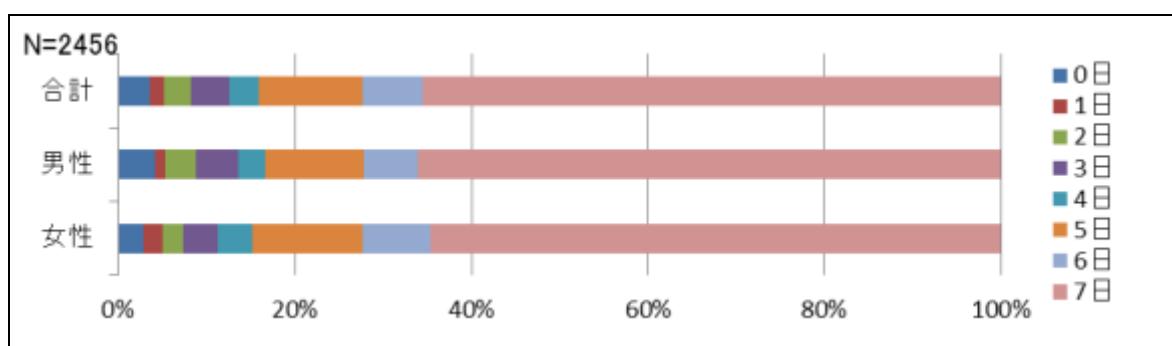
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 71 欠食者を除く者の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)
(性別クロス集計)



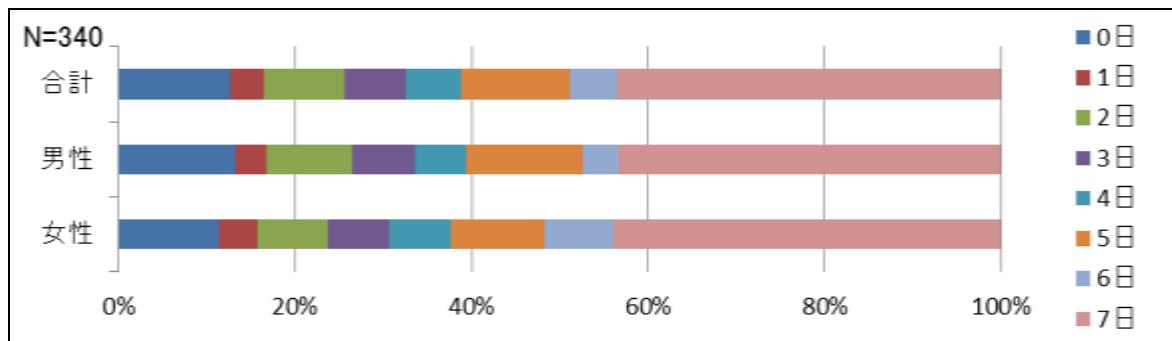
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 72 欠食者の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



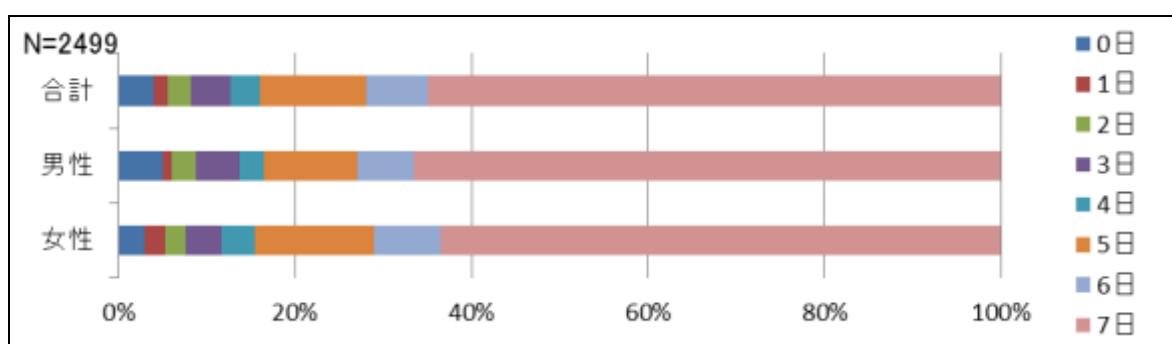
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 73 欠食者を除く者の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



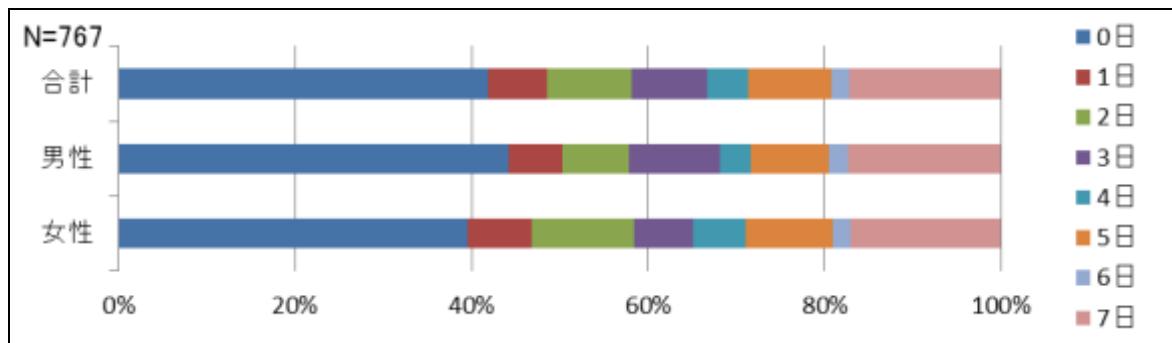
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 74 家庭食以外の利用が週5回以上の人「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



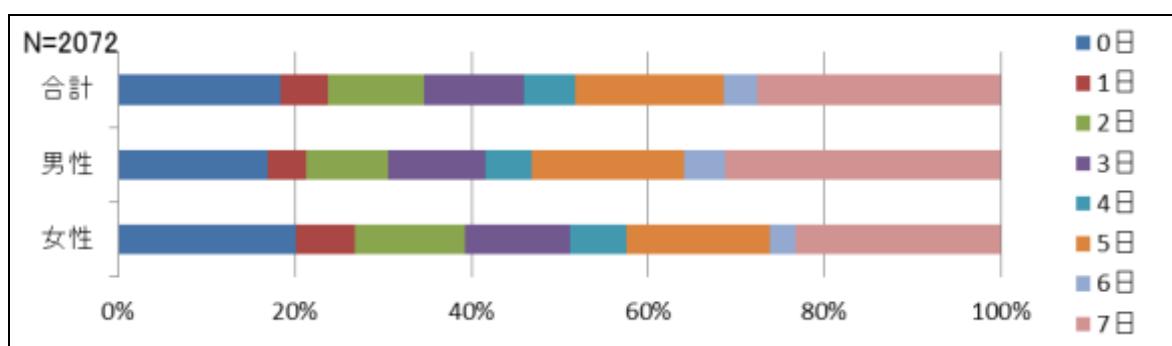
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 75 家庭食以外の利用が週5回未満の人「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



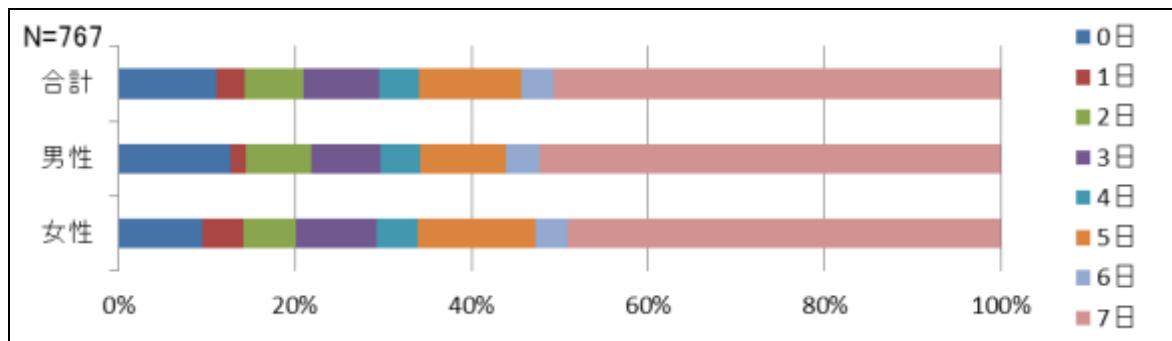
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 76 ごはん食回数が7回以下の人の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)
(性別クロス集計)



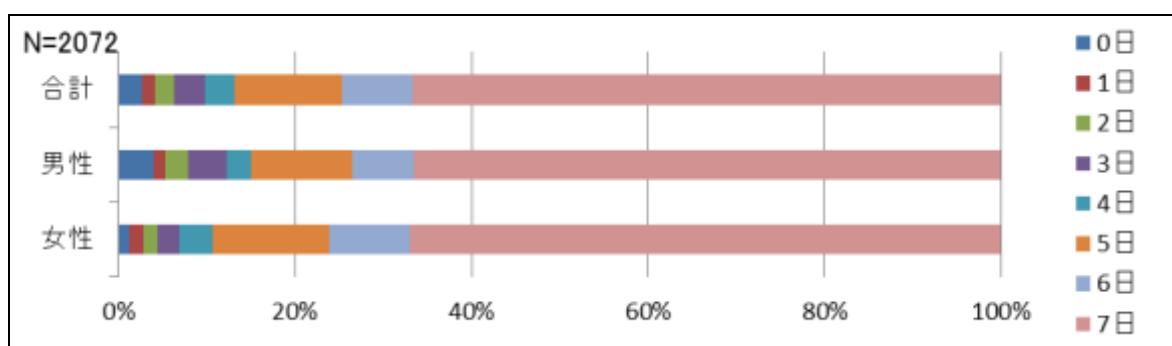
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 77 ごはん食回数が8回以上の人の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)
(性別クロス集計)



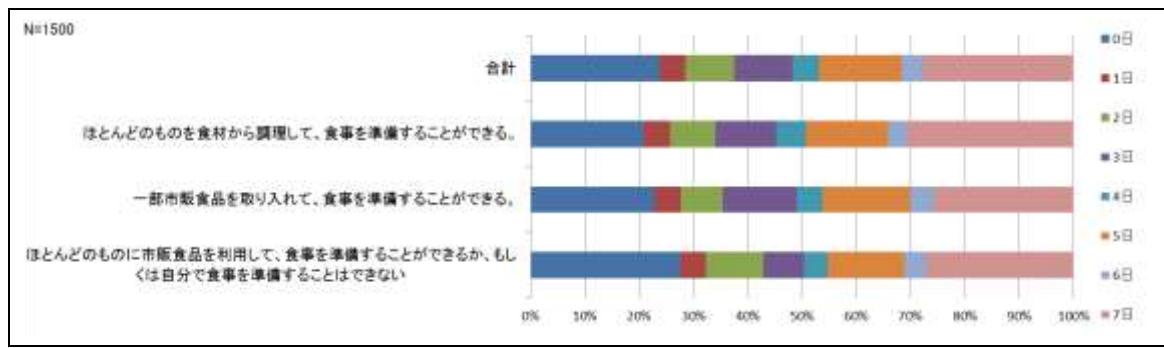
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 78 ごはん食回数が7回以下の人の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



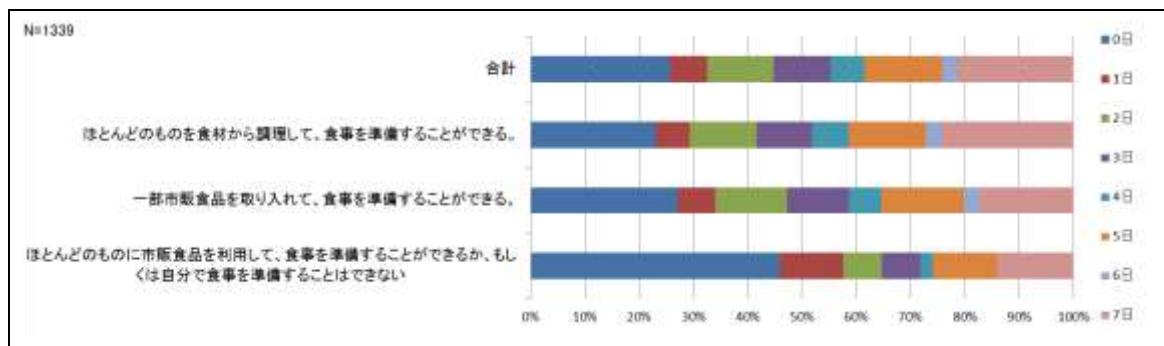
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 79 ごはん食回数が8回以上の人の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)
(性別クロス集計)



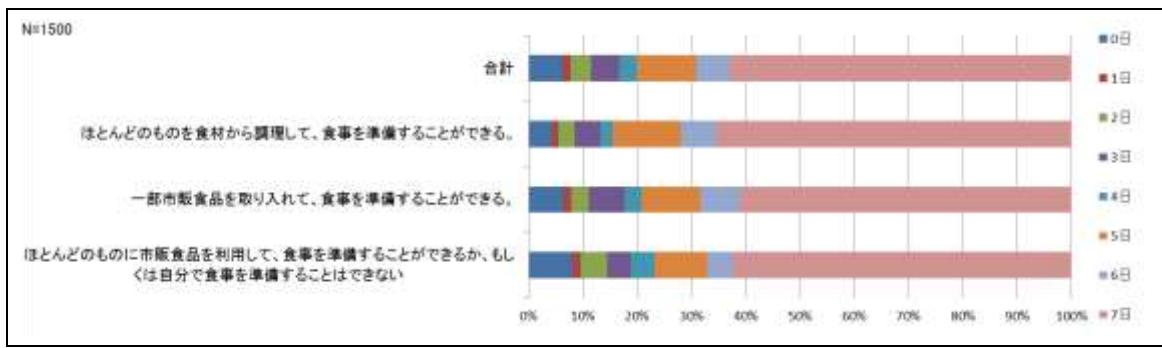
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 80 調理能力別の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)(男性)



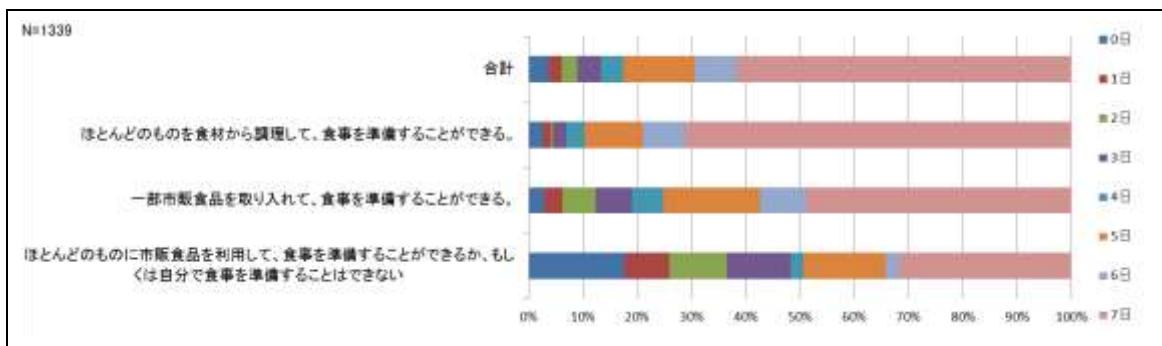
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 81 調理能力別の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(昼食)(女性)



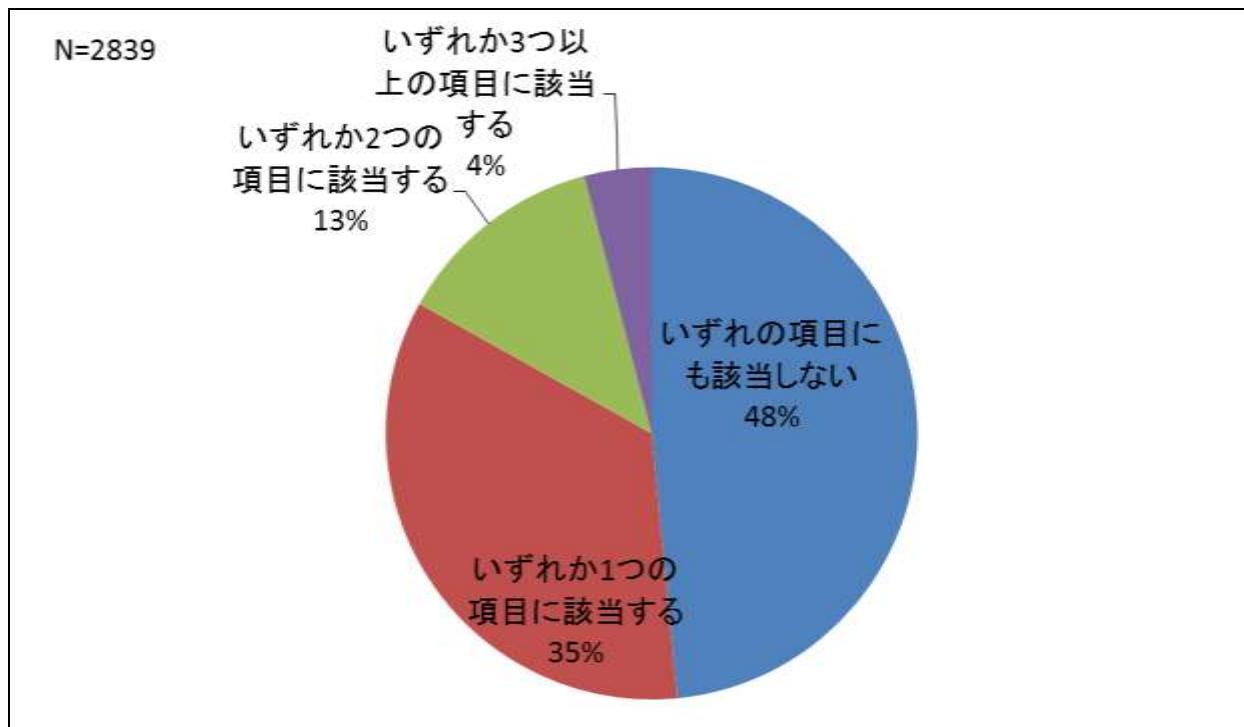
出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

図 82 調理能力別の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)(男性)



出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

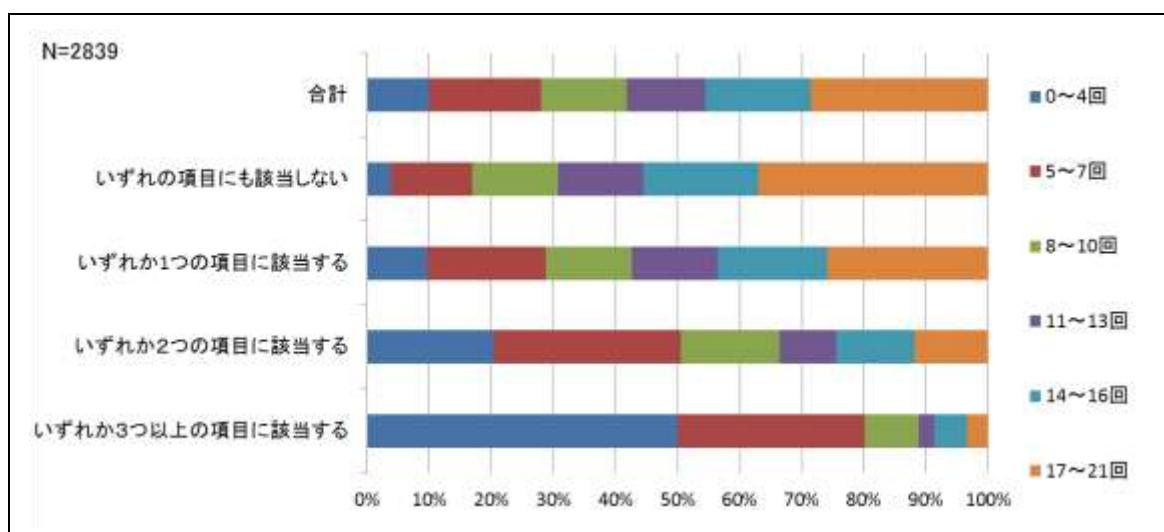
図 83 調理能力別の「主食・主菜・副菜」3つそろう日数(夕食)(女性)



出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

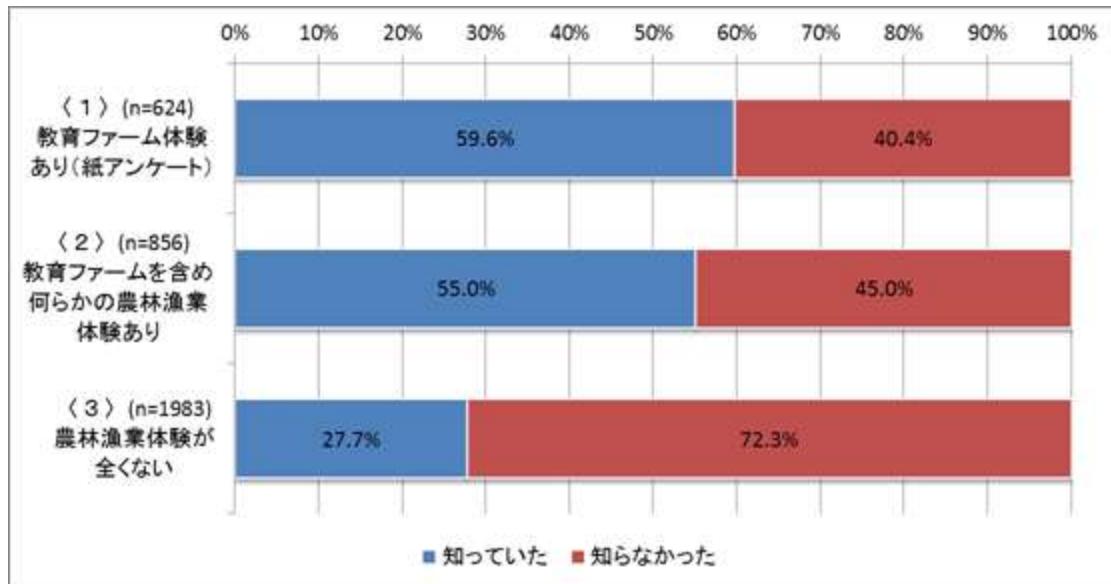
図 84 栄養バランスの観点から注意が必要な4つの食習慣※の該当数構成

- ※ 栄養バランスの観点から注意が必要な4つの食習慣とは以下のとおりで、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べていない割合が高まる。
- 日常的な欠食がある（平日に、朝食・昼食・夕食のいずれかひとつ以上を欠食している）
 - 夕食で家庭食以外が多い（夕食の外食・中食・冷凍・レトルト食品の利用回数が週に5回以上）
 - ごはん食の頻度が少ない（一週間で21回の食事のうち、ごはん食が7回以下）
 - 調理能力が低い（普段の食事を自分で準備する場合に、「ほとんどのものに市販食品を利用」もしくは「自分で食事を準備することはできない」と回答）



出典:「生活者アンケート調査」(三菱総研、2014年6月)

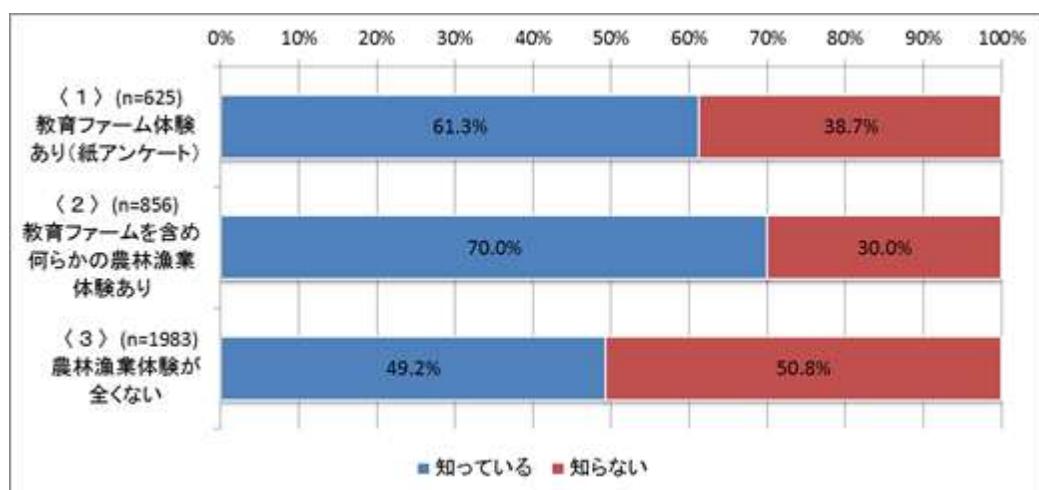
図 85 4つの食習慣※の該当数別、一週間で「主食・主菜・副菜」3つそろう回数
(朝食・昼食・夕食の合計回数)



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月~10月)

※ 〈1〉教育ファーム体験あり(紙アンケート)
〈2〉教育ファームを含め、何らかの農林漁業体験あり
〈3〉農林漁業体験が全くない

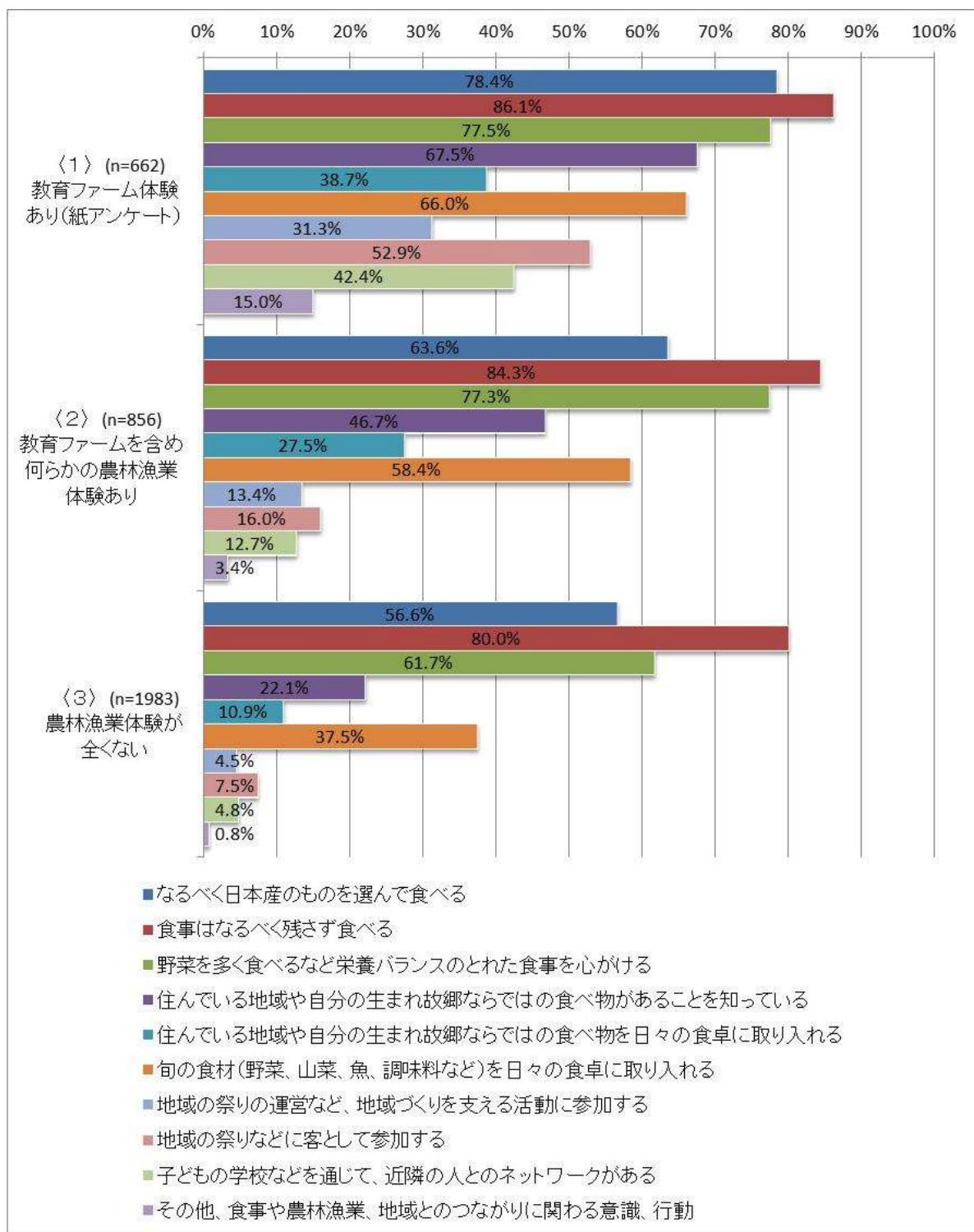
図 86 農業・農村が多面的な機能を生み出していることについて知っていたか



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月~10月)

※ 〈1〉教育ファーム体験あり(紙アンケート)
〈2〉教育ファームを含め、何らかの農林漁業体験あり
〈3〉農林漁業体験が全くない

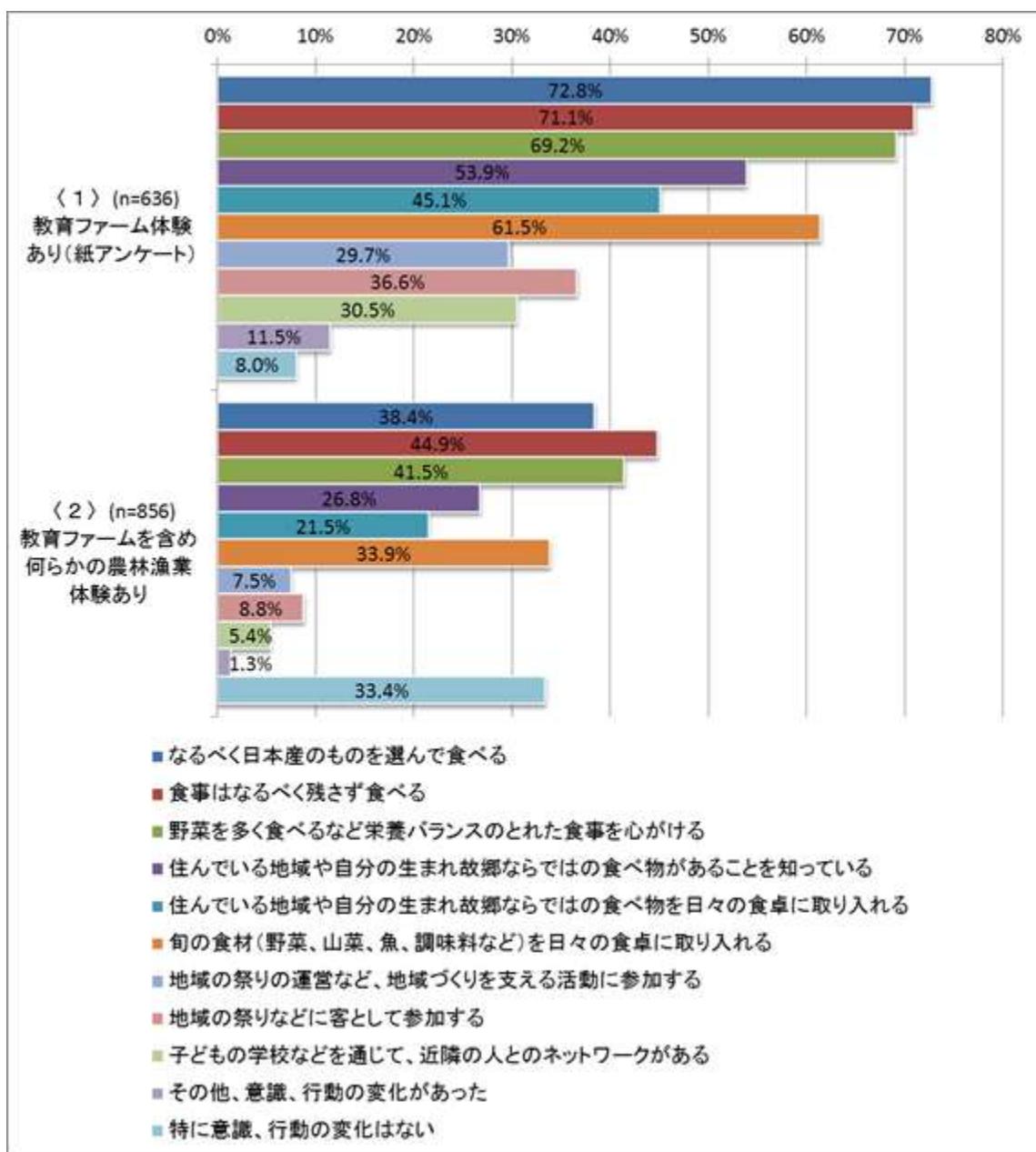
図 87 現在の日本の食料自給率は、カロリーベースで先進諸外国の中でも最低水準であることについて知っていたか



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

※ ①教育ファーム体験あり(紙アンケート)
②教育ファームを含め、何らかの農林漁業体験あり
③農林漁業体験が全くない

図 88 普段の意識や行動、状況について



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

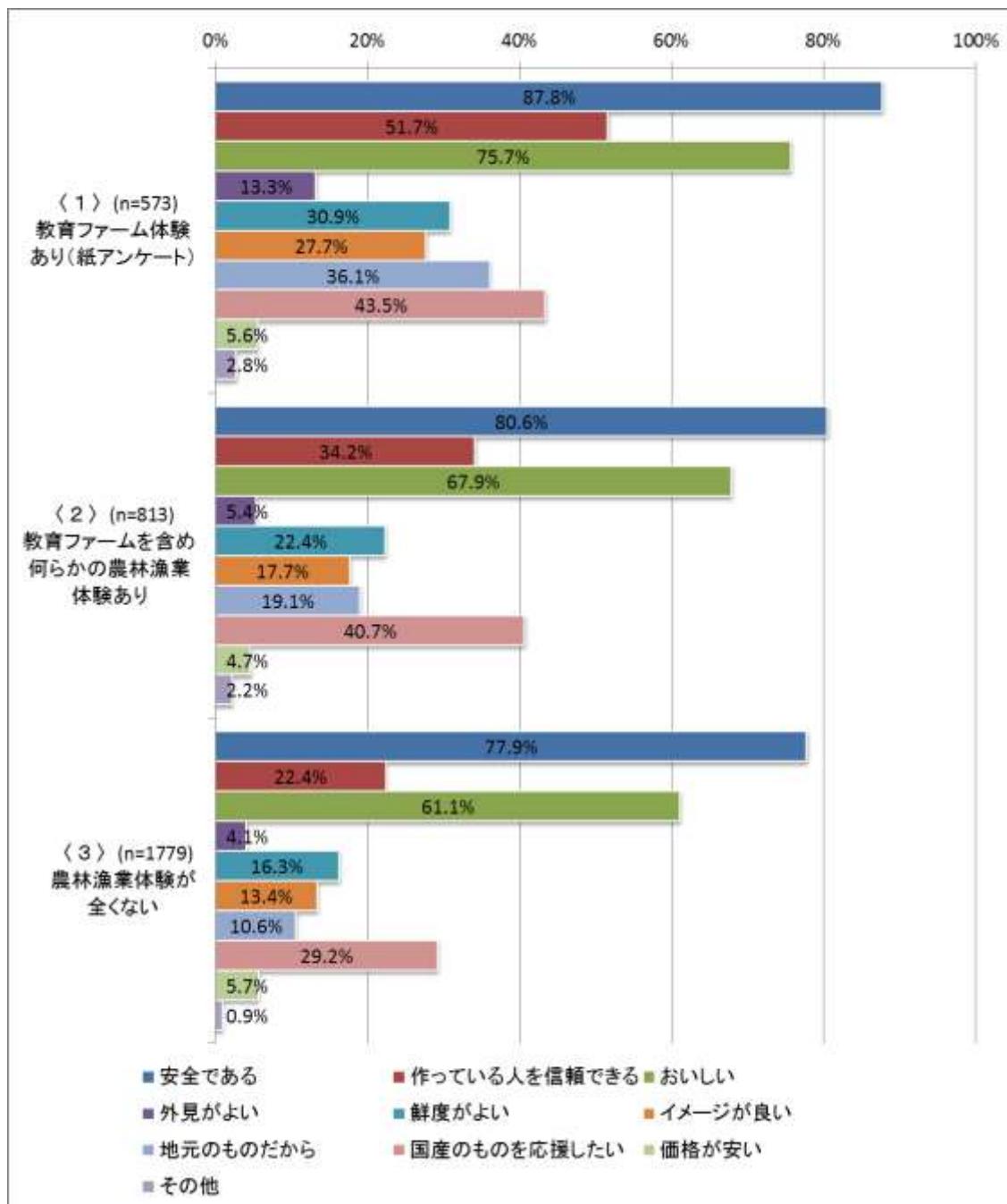
※ ①教育ファーム体験あり(紙アンケート)

②教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

③農林漁業体験が全くない

図 89 農林漁業の体験活動に参加したこときっかけに、
より強く意識するようになったこと、機会が増加した行動、強まった状況



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

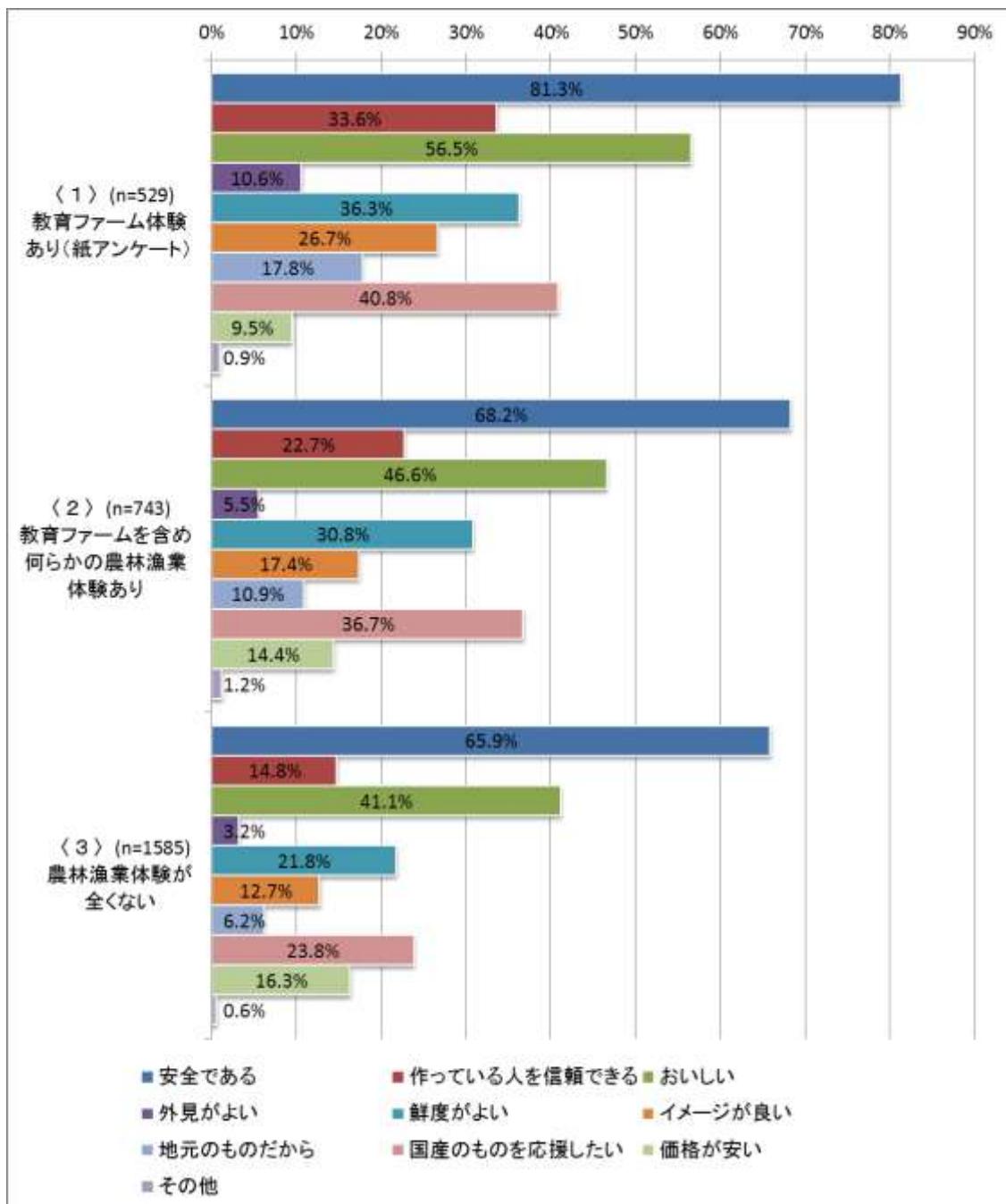
※ ①教育ファーム体験あり(紙アンケート)

②教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

③農林漁業体験が全くない

図 90 日本産を選ぶ理由【米】



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

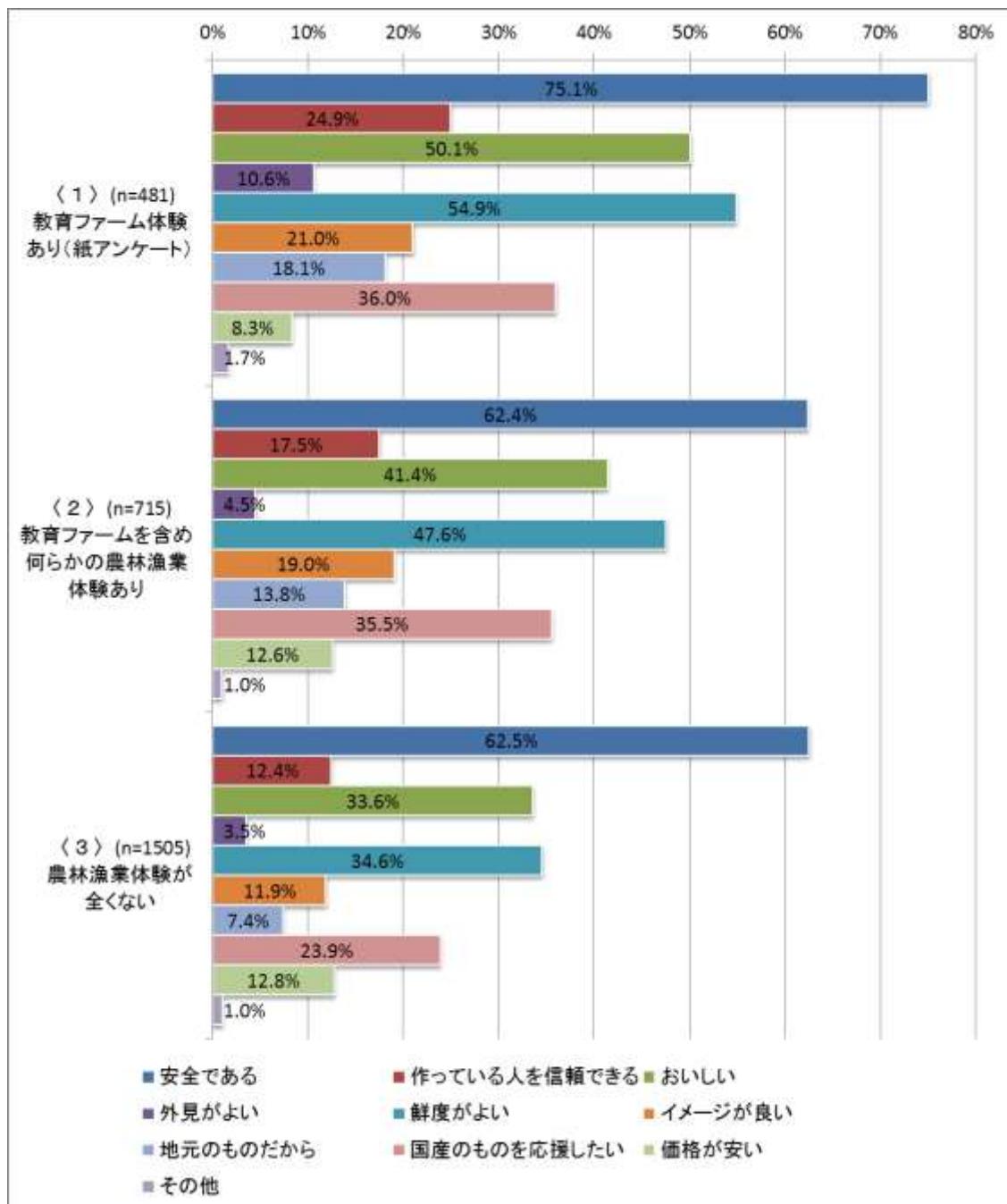
※ (1)教育ファーム体験あり(紙アンケート)

(2)教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

(3)農林漁業体験が全くない

図 91 日本産を選ぶ理由【肉類(牛肉や豚肉など)】



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

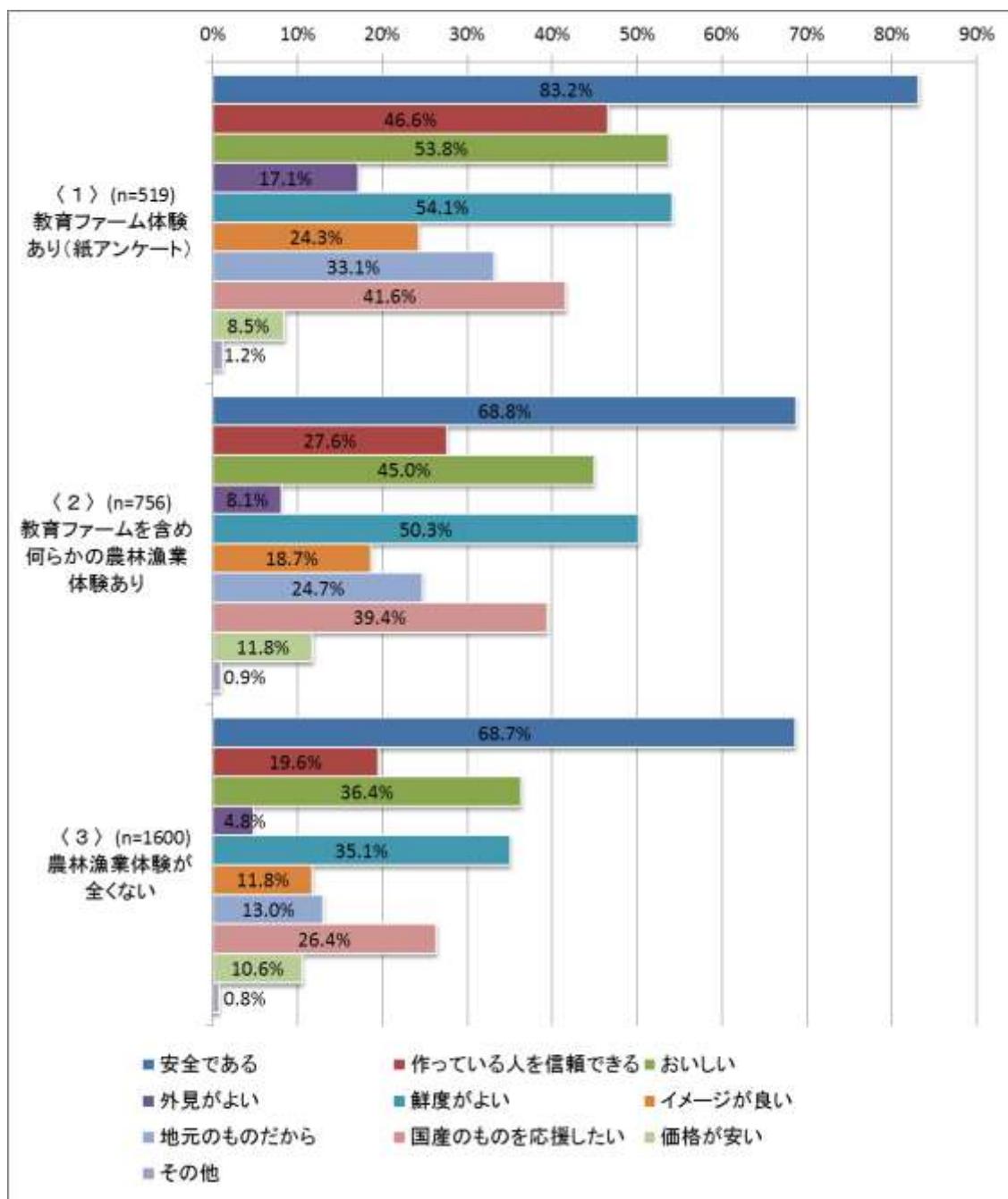
※ (1)教育ファーム体験あり(紙アンケート)

(2)教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

(3)農林漁業体験が全くない

図 92 日本産を選ぶ理由【魚介類(サケ、タコなど)】



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

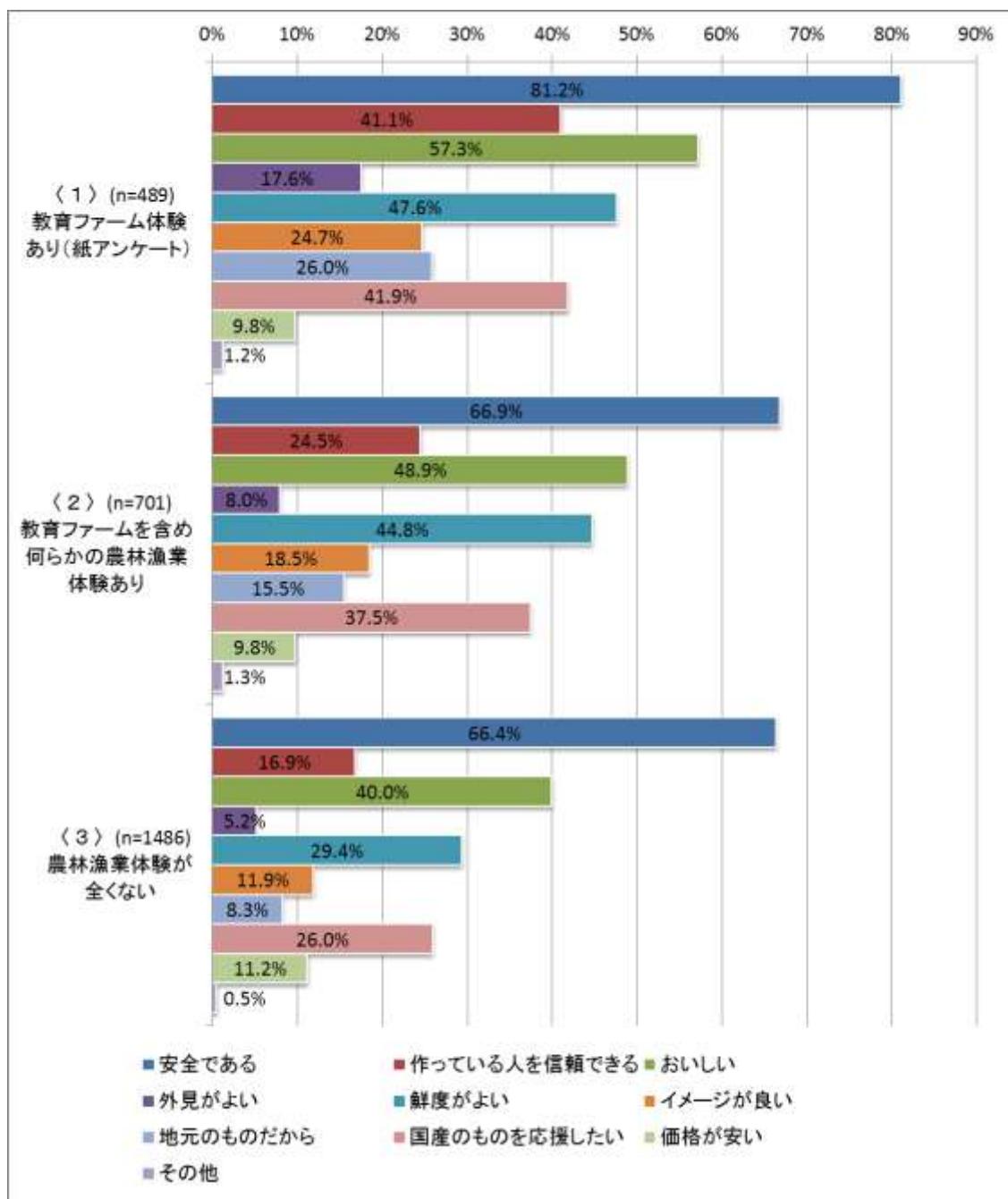
※ (1)教育ファーム体験あり(紙アンケート)

(2)教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

(3)農林漁業体験が全くない

図 93 日本産を選ぶ理由【野菜(ブロッコリー、パプリカ、ニンニクなど)】



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

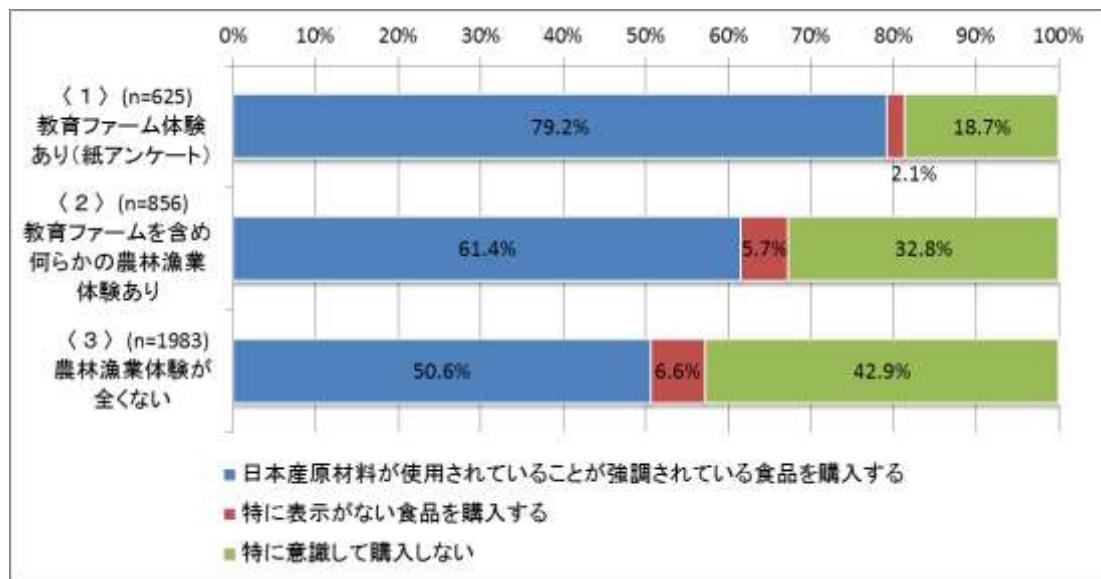
※ (1)教育ファーム体験あり(紙アンケート)

(2)教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

(3)農林漁業体験が全くない

図 94 日本産を選ぶ理由【果物(かんきつ類、ぶどうなど)】



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

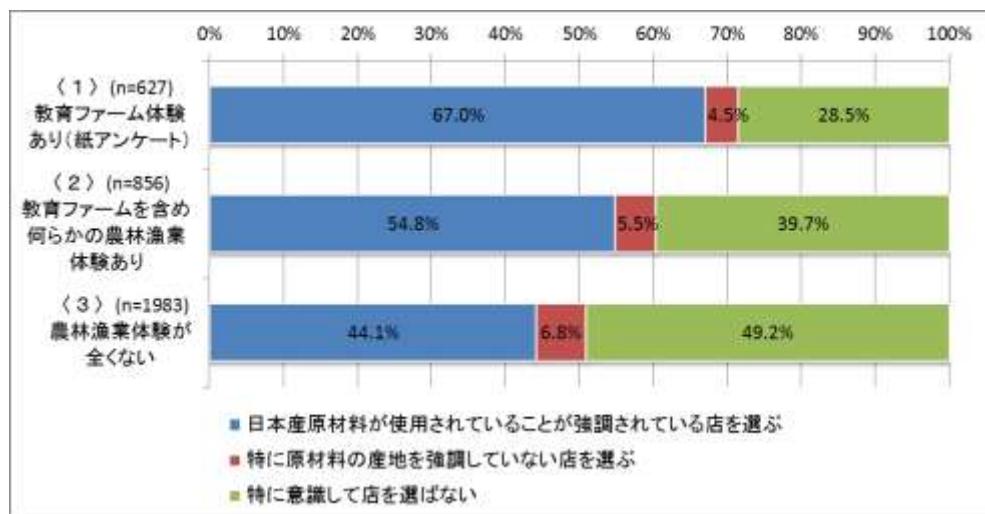
※ 〈1〉教育ファーム体験あり(紙アンケート)

〈2〉教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

〈3〉農林漁業体験が全くない

図 95 スーパーやコンビニでお弁当やお総菜などの調理済み食品を購入するとき、同じ価格で、日本産原材料が使用されていることが強調されているものと、特に表示のないもので迷った場合の購入について



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

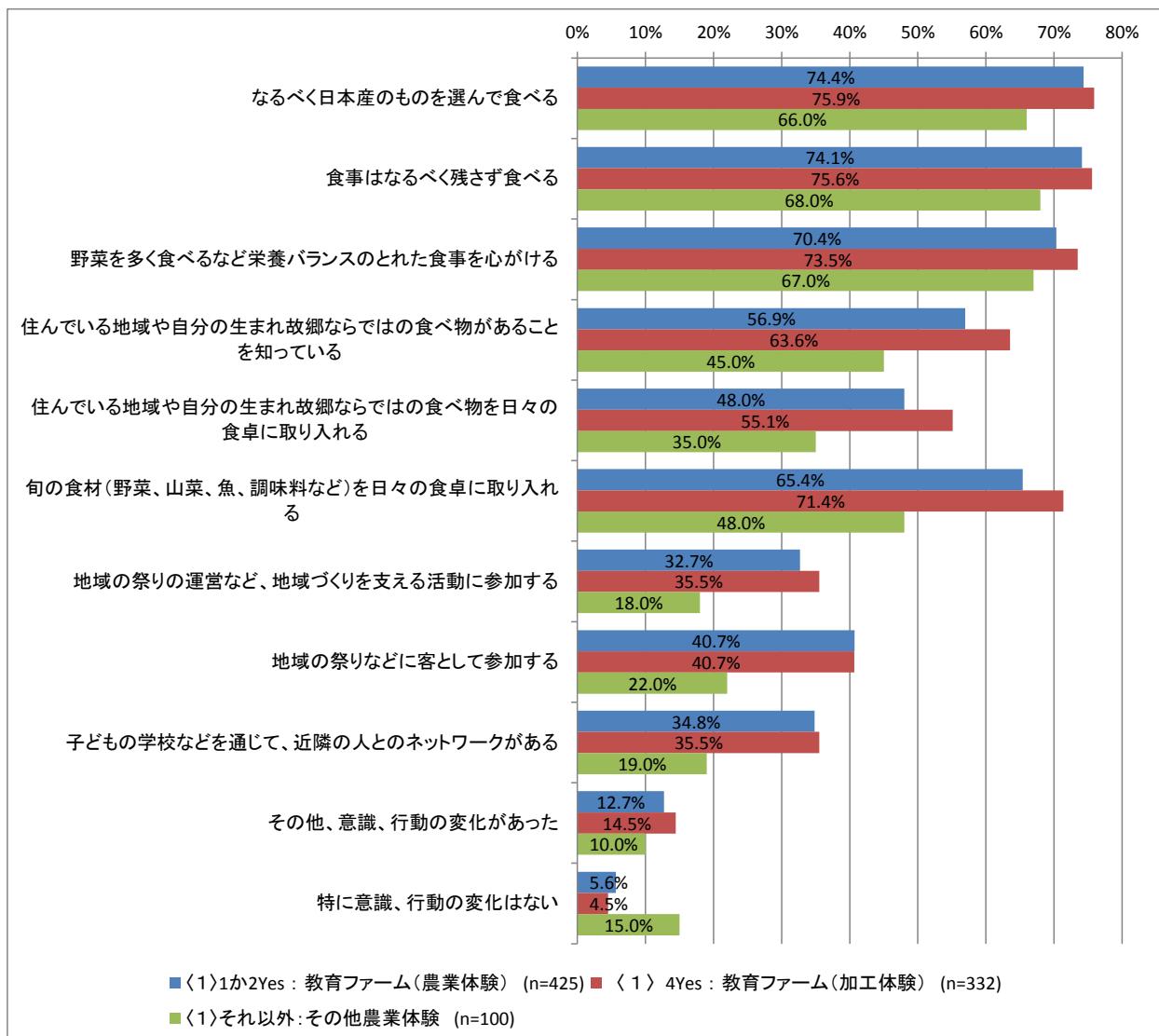
※ 〈1〉教育ファーム体験あり(紙アンケート)

〈2〉教育ファームを含め、何らかの農林漁業

体験あり

〈3〉農林漁業体験が全くない

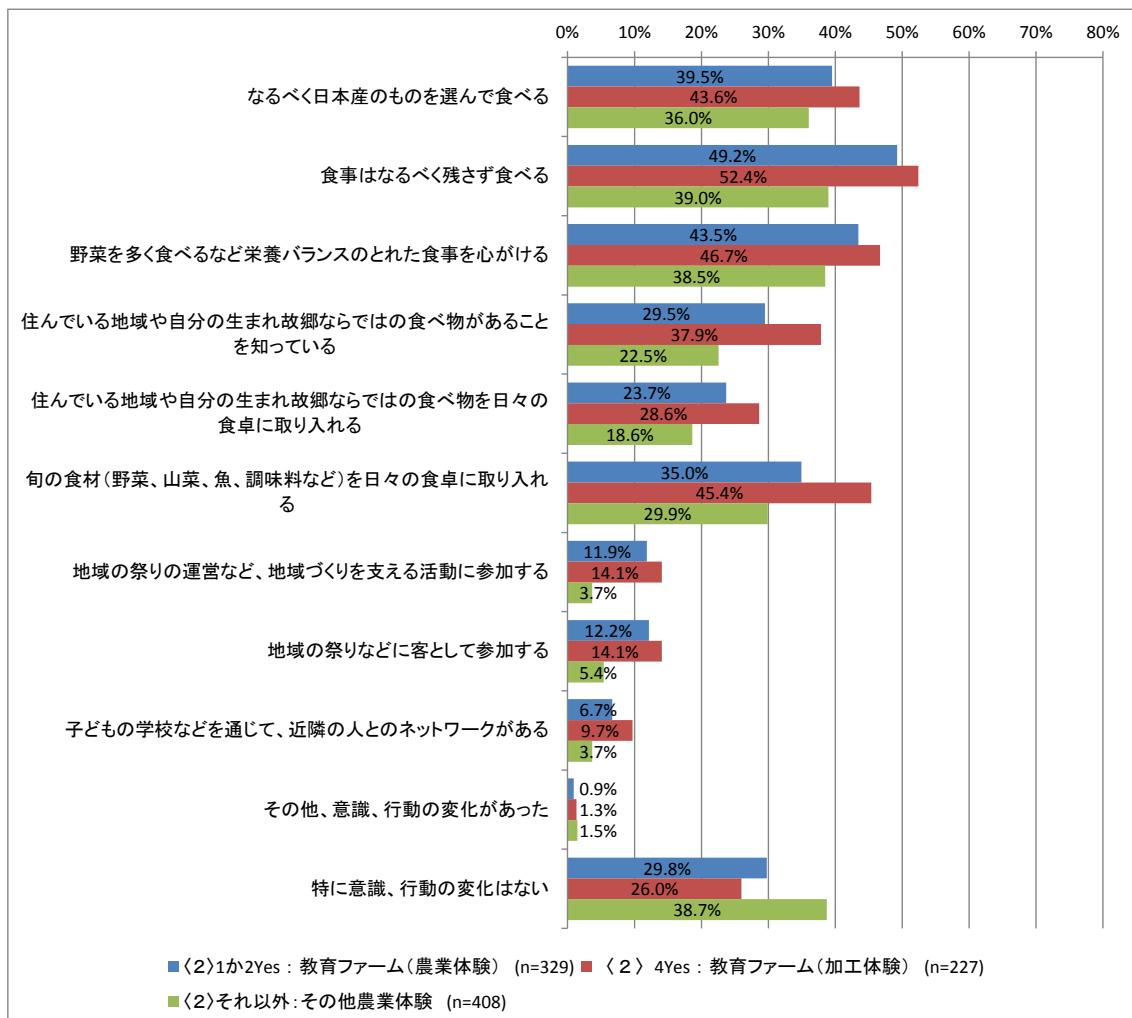
図 96 外食をするときに、同じ価格帯で、日本産や日本国内の特定の地域の原材料が使用されていることが強調されている店と、特に原材料の産地を強調していない店で迷った場合の選択について



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

- ※ 教育ファーム(農業体験)=「生産者と交流しながら田植え・稲刈り・野菜収穫などの体験」「体験農園・市民農園(農業者の指導あり)」のいずれかを回答した人の合計
- ・教育ファーム(加工体験)=「収穫物を使った食・加工体験(餅つき、蕎麦打ち、炊飯、汁物作り、味噌作り等)」と回答した人の数
- ・その他農業体験=上記のいずれも回答しておらず、「家庭菜園・市民農園(農業者の指導なし)」「観光農園等(果樹園等)での収穫体験」「その他の農林漁業体験」のいずれかを回答した人の合計
- ※ 「教育ファーム(加工体験)」があると回答した人のうち、77.7%が「教育ファーム(農業体験)」があると回答

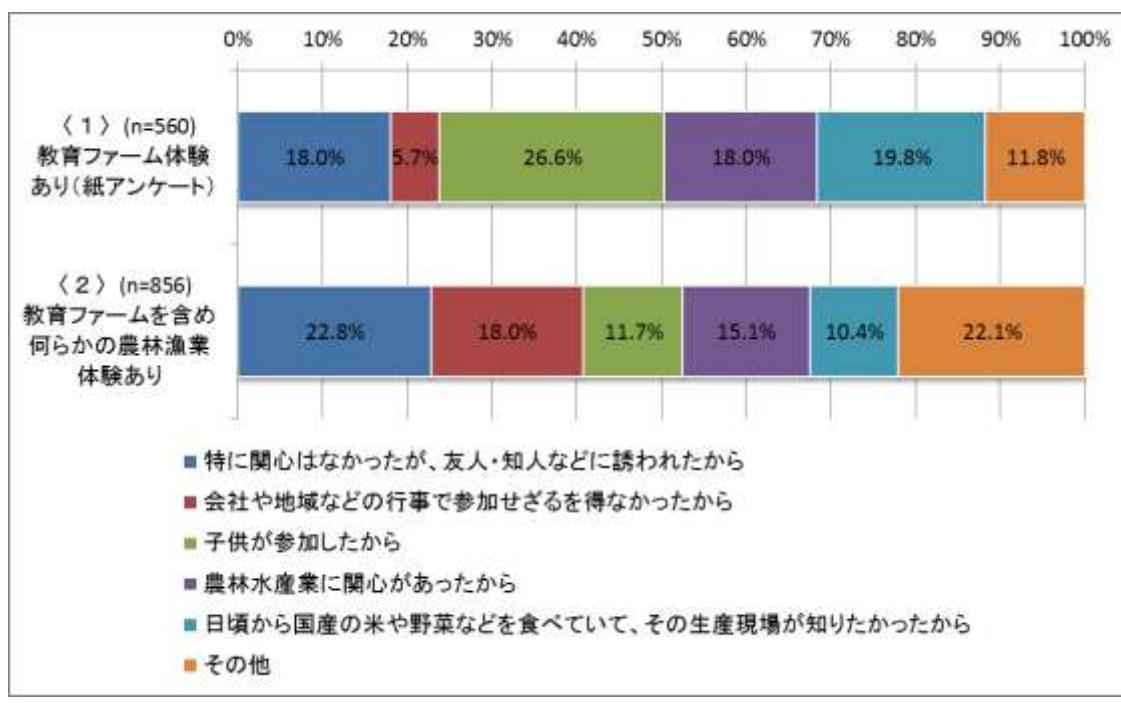
図 97 農林漁業の体験活動に参加したことをきっかけに、より強く意識するようになったこと、機会が増加した行動、強まった状況(体験種類別)
<1>教育ファーム体験あり



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月~10月)

- ※ 教育ファーム(農業体験)=「生産者と交流しながら田植え・稲刈り・野菜収穫などの体験」「体験農園・市民農園(農業者の指導あり)」のいずれかを回答した人の合計
- ・教育ファーム(加工体験)=「収穫物を使った食・加工体験(餅つき、蕎麦打ち、炊飯、汁物作り、味噌作り等)」と回答した人の数
- ・その他農業体験=上記のいずれも回答しておらず、「家庭菜園・市民農園(農業者の指導なし)」「観光農園等(果樹園等)での収穫体験」「その他の農林漁業体験」のいずれかを回答した人の合計
- ※ 「教育ファーム(加工体験)」があると回答した人のうち、47.6%が「教育ファーム(農業体験)」があると回答

図 98 農林漁業の体験活動に参加したことをきっかけに、より強く意識するようになったこと、機会が増加した行動、強まった状況(体験種類別)
(2)教育ファームを含め、何らかの農林漁業体験あり



出典:「教育ファームアンケート調査」(三菱総研、2014年6月～10月)

※ 〈1〉教育ファーム体験あり(紙アンケート)

〈2〉教育ファームを含め、何らかの農林漁業
体験あり

図 99 農林漁業の体験活動に参加することになった理由